

予防接種の 上手な受け方

安全性確認のため一時中断されていたヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種が今年4月から再開され、公費負担で受けられます。

また、子宮頸がん予防ワクチンも再開され、今年度は、中学1年生から高校2年生まで公費負担で受けられます。

さて、その髄膜炎予防のためのワクチン（ヒブ・小児用肺炎球菌）ですが、DPT（三種混合）、BCGと接種時期が重なり、生後2カ月から予防接種のスケジュールが密で、スケジュールを計画立てて取り組まないとなかなか接種が進まないこととなります。また、接種時期を逃してしまいかねません。

例えば、BCGは生後3カ月から6カ月の間のみ受けられます。また、BCGは接種後1カ月は他のワクチン接種はできません。ヒブ、小児用肺炎球菌、日本脳炎、子宮頸がん予防等は不活化ワクチンで、それら接種後一週間後次のワクチンが接種できませんが、BCG、ポリオ、MR（麻疹・風疹）、おたふく、水痘等は生ワクチンで、

それら接種後1カ月間は、他のワクチン接種ができません。

DPT、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンは同時接種可能です。MR、水ぼうそう、おたふくは同時接種可能です。厚生省は同時接種の安全性について問題はないとしています。同時接種を利用して密なスケジュールを克服することもできます。うまく接種が進んだ場合の一例を表にあげます。参考にしてください。発熱や、具合によつてうまく進まなくとも、何とか方法はありますので、かかりつけ医と相談してください。

その他予防接種に関しては、海

外旅行の際に接種が必要なワクチンもあります。海外留学の際には厳格な接種証明書を求める国があります。海外旅行海外留学の前に余裕を持つて準備が必要です。

ロタウイルスワクチンは今年中に承認見込みです。話題のポリオ不活化ワクチンは来年度から国内導入予定です。B型肝炎ワクチンは、家族内にキャリアがいる場合はワクチン接種しておく方が良いでしょう。インフルエンザは例年どおり。肺炎球菌は70歳以上公費助成があり、5年間有効です。

文 ふじおか内科小児科

院長 藤岡 隆庸先生

うまく接種が進んだ場合の一例

生後2カ月から	ヒブ① 小児肺炎球菌①
生後3カ月から	DPT(三種)① ヒブ② 小児肺炎球菌②
生後4カ月頃	DPT(三種)② ヒブ③ 小児肺炎球菌③
生後5カ月頃	BCG
生後6カ月頃	DPT(三種)③ ポリオ①
生後10カ月頃	ポリオ②
1才	MR(麻疹・風疹)① おたふく①*自費 水ぼうそう①*自費 ヒブ④ 小児肺炎球菌④ DPT(三種)④
3才	日本脳炎① 日本脳炎②
4才	日本脳炎③
5才	MR(麻疹・風疹)②
9才	日本脳炎④
11才	DT(二種)⑤
13才	子宮頸がん①②③ MR(麻疹・風疹)③
高校3年生	MR(麻疹・風疹)④
高齢者(70歳以上)	肺炎球菌